



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月6日

上場会社名 株式会社九州リースサービス 上場取引所 東・福
コード番号 8596 URL https://www.k-lease.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 磯山 誠二
問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員総合企画部長 (氏名) 小嶋 良一 (TEL) (092) 431-2530
四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 2023年12月8日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	16,368	△5.6	2,661	10.5	2,640	9.0	1,799	△52.1
2023年3月期第2四半期	17,340	44.9	2,409	37.3	2,421	36.7	3,752	192.3

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 1,862百万円(△24.3%) 2023年3月期第2四半期 2,461百万円(101.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年3月期第2四半期	円 銭 79.12	円 銭 —
2023年3月期第2四半期	165.12	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2024年3月期第2四半期	百万円 184,031	百万円 39,398	% 21.2
2023年3月期	175,514	37,889	21.4

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 39,051百万円 2023年3月期 37,556百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭 —	円 銭 11.00	円 銭 —	円 銭 14.50	円 銭 25.50
2024年3月期	—	12.50	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	13.00	25.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,000	△13.1	4,000	△27.0	4,000	△26.2	2,600	△55.6	114.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年3月期2Q	25,952,374株	2023年3月期	25,952,374株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2024年3月期2Q	3,206,639株	2023年3月期	3,214,539株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2024年3月期2Q	22,741,139株	2023年3月期2Q	22,726,970株
------------	-------------	------------	-------------

(注) 自己株式数については、「役員株式給付信託(BBT)」及び「従業員株式給付信託(J-ESOP)」制度に係る信託財産として、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が所有している当社株式を含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(追加情報)	11
(セグメント情報等)	12
3. 補足情報	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2023年4月1日～9月30日)におきましては、社会経済活動の正常化に向けた動きが着実に進展するとともに、国内企業の業績も堅調に推移し、わが国の景気は緩やかな回復傾向を示しています。当社グループが属するリース業界においても、業界全体の2023年4月～9月累計のリース取扱高は、2兆1,227億円、前年同期比9.7%増となりました。(出典:公益社団法人リース事業協会「リース統計」)

一方で、インフレ懸念に伴う世界的な金融引締めが続く中で、海外景気の下振れが懸念されていることや、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化及びイスラエル・パレスチナ紛争を背景とした資源・原材料価格の高騰を受け、当面、国内物価の上昇傾向が続くことが予想されます。加えて、コロナ融資の返済期限到来による企業倒産は増加傾向にあり、金利や為替の変動と併せて、今後の事業環境の動向には注視が必要と考えています。

このような厳しい経営環境が続く中、「事業基盤の拡充」と「企業態勢の高度化」を基本戦略に掲げる当社グループの中期経営計画「共創2024 ～Challenge for the Future～」は、最終年度(2024年3月期)を迎えております。

当中期経営計画では、環境関連ビジネスの強化を当社グループの事業成長ドライバーとして位置づけ、営業資産の積極的な積み上げや新規顧客の開拓を図るとともに、半導体関連産業の集積が進む熊本エリアをはじめ九州全域に波及している設備投資や不動産関連需要など、地域マーケット特性をとらえた営業活動を推進し、業容拡大に取り組んでおります。更に、株式会社西日本フィナンシャルホールディングス(以下「西日本F H」)との間で締結した資本・業務提携契約に基づき、西日本F H顧客基盤への当社ソリューション提供などの協業拡大にも取り組んでおります。

また、2023年7月には、資金調達手段の多様化による安定強固な財務基盤の構築を企図し、当社グループとしては初となる公募による社債50億円を発行しました。

これらの取組により、当第2四半期連結累計期間における営業資産残高は、1,718億円と中期経営計画最終年度の目標(1,660億円)を上回る実績となっております。リスクと収益性のバランスを考慮した良質な営業資産の循環を引き続き図っていくとともに、中期経営計画最終年度における利益目標である営業利益40億円の達成に向け邁進してまいります。

当第2四半期連結累計期間における経営成績は、売上高は16,368百万円(前年同期比5.6%減)となりましたが、各セグメントにおいて環境関連分野向けを中心に営業資産の積み上げが図られたことや手数料収入の増加が奏功し、営業利益は2,661百万円(前年同期比10.5%増)、経常利益は2,640百万円(前年同期比9.0%増)となりました。一方、前年同期において投資有価証券売却に伴う特別利益を計上していたことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,799百万円(前年同期比52.1%減)となりました。また、営業資産残高は8,589百万円増加し171,845百万円(前期末比5.3%増)となりました。なお、当第2四半期連結累計期間における営業利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益の2024年3月期連結業績予想に対する進捗率はそれぞれ66.5%、69.2%となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①リース・割賦

環境関連分野向けなどの新規取扱高が増加したことにより、売上高は9,760百万円(前年同期比3.8%増)、営業利益は841百万円(前年同期比7.5%増)となりました。なお、営業資産残高は87,293百万円(前期末比4.4%増)となりました。

②ファイナンス

営業資産の積み上げに伴い利息収入等が増収となり、売上高は907百万円(前年同期比7.2%増)、営業利益は568百万円(前年同期比11.4%増)となりました。なお、営業資産残高は36,859百万円(前期末比12.0%増)となりました。

③不動産

不動産販売収入の減少により、売上高は4,841百万円（前年同期比22.6%減）となりましたが、賃貸収入や仲介手数料収入の増加により営業利益は1,337百万円（前年同期比16.9%増）となりました。なお、営業資産残高は42,854百万円（前期末比1.1%増）となりました。

④フィービジネス

自動車関連の手数料収入が堅調に推移したことにより、売上高は247百万円（前年同期比4.4%増）、営業利益は125百万円（前年同期比21.5%増）となりました。

⑤環境ソリューション

売上高は594百万円（前年同期比3.3%増）、営業利益は125百万円（前年同期比3.3%増）となりました。なお、太陽光発電所を新規に取得したことで営業資産残高は4,839百万円（前期末比10.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は184,031百万円（前期末比4.9%増）と前連結会計年度末に比べ8,517百万円の増加となりました。これは主に、リース債権及びリース投資資産の増加2,014百万円、割賦債権の増加1,823百万円、営業貸付金の増加3,958百万円、賃貸不動産の増加1,087百万円などです。

負債合計は144,633百万円（前期末比5.1%増）と前連結会計年度末に比べ7,008百万円の増加となりました。これは主に、資金調達手段の多様化により社債5,000百万円を発行したこと及び借入金の増加3,950百万円、未払法人税等の減少1,716百万円などです。

純資産合計は39,398百万円（前期末比4.0%増）と前連結会計年度末に比べ1,509百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金の増加1,452百万円などです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ865百万円減少し5,230百万円となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは7,844百万円の資金流出（前第2四半期連結累計期間は2,961百万円の資金流出）となりました。主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益2,643百万円、販売用不動産の減少1,540百万円などによるものであり、主な減少要因は、営業貸付金の増加3,958百万円、法人税等の支払2,460百万円、リース債権及びリース投資資産の増加2,331百万円などによるものです。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは873百万円の資金流出（前第2四半期連結累計期間は41百万円の資金流出）となりました。主な増加要因は、投資有価証券の売却及び償還による収入200百万円によるものであり、主な減少要因は、連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出970百万円などによるものです。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは7,825百万円の資金流入（前第2四半期連結累計期間は4,354百万円の資金流入）となりました。主な増加要因は、社債の純増減額（収入）4,865百万円、長期・短期借入金の純増減額（収入）3,403百万円などによるものであり、主な減少要因は、配当金の支払額344百万円、リース債務の返済による支出90百万円などによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期の連結業績予想につきましては、2023年5月10日発表の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,095	5,230
受取手形及び売掛金	124	76
割賦債権	22,773	24,596
リース債権及びリース投資資産	56,067	58,081
営業貸付金	32,900	36,859
賃貸料等未収入金	304	309
販売用不動産	14,467	12,927
その他	471	904
貸倒引当金	△343	△358
流動資産合計	132,861	138,627
固定資産		
有形固定資産		
賃貸資産		
賃貸不動産（純額）	25,806	26,894
その他（純額）	5,506	5,392
賃貸資産合計	31,313	32,286
その他の営業資産	3,487	3,596
社用資産	567	563
有形固定資産合計	35,369	36,446
無形固定資産	384	571
投資その他の資産		
投資有価証券	5,418	6,714
その他	1,480	1,671
投資その他の資産合計	6,898	8,386
固定資産合計	42,652	45,404
資産合計	175,514	184,031

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,376	2,139
短期借入金	29,545	37,026
1年内償還予定の社債	200	200
未払法人税等	2,465	748
引当金	437	455
その他	5,892	6,118
流動負債合計	40,916	46,689
固定負債		
社債	1,800	6,700
長期借入金	84,879	81,348
引当金	37	38
退職給付に係る負債	331	358
資産除去債務	415	435
その他	9,245	9,063
固定負債合計	96,708	97,943
負債合計	137,624	144,633
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,933	2,933
資本剰余金	811	811
利益剰余金	34,179	35,631
自己株式	△996	△993
株主資本合計	36,927	38,382
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	628	668
その他の包括利益累計額合計	628	668
非支配株主持分	332	347
純資産合計	37,889	39,398
負債純資産合計	175,514	184,031

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	17,340	16,368
売上原価	13,568	12,240
売上総利益	3,771	4,128
販売費及び一般管理費	1,362	1,467
営業利益	2,409	2,661
営業外収益		
受取配当金	78	33
為替差益	10	27
その他	8	13
営業外収益合計	97	74
営業外費用		
支払利息	41	33
社債発行費	-	34
株主優待関連費用	30	23
その他	13	4
営業外費用合計	84	95
経常利益	2,421	2,640
特別利益		
投資有価証券売却益	3,029	3
特別利益合計	3,029	3
税金等調整前四半期純利益	5,451	2,643
法人税、住民税及び事業税	1,675	743
法人税等調整額	13	77
法人税等合計	1,688	820
四半期純利益	3,762	1,822
非支配株主に帰属する四半期純利益	9	23
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,752	1,799

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	3,762	1,822
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,300	40
その他の包括利益合計	△1,300	40
四半期包括利益	2,461	1,862
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,451	1,839
非支配株主に係る四半期包括利益	9	23

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,451	2,643
減価償却費	646	576
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△19	15
引当金の増減額 (△は減少)	17	19
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	7	△5
受取利息及び受取配当金	△78	△34
資金原価及び支払利息	400	359
社債発行費	-	34
為替差損益 (△は益)	0	△27
投資有価証券売却損益 (△は益)	△3,029	△3
割賦債権の増減額 (△は増加)	△1,868	△1,896
リース債権及びリース投資資産の増減額 (△は増加)	△510	△2,331
営業貸付金の増減額 (△は増加)	883	△3,958
販売用不動産の増減額 (△は増加)	△4,221	1,540
賃貸資産の取得による支出	△638	△30
その他の営業資産の取得による支出	△0	△295
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	3	32
仕入債務の増減額 (△は減少)	△51	△249
その他	798	△1,451
小計	△2,208	△5,064
利息及び配当金の受取額	78	34
利息の支払額	△398	△354
法人税等の支払額	△432	△2,460
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,961	△7,844
投資活動によるキャッシュ・フロー		
社用資産の取得による支出	△15	△19
無形固定資産の取得による支出	△53	△23
投資有価証券の取得による支出	△0	△59
投資有価証券の売却及び償還による収入	28	200
連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△970
その他	△0	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△41	△873

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△10,400	5,000
長期借入れによる収入	30,690	12,200
長期借入金の返済による支出	△15,731	△13,796
社債の発行による収入	-	4,965
社債の償還による支出	△50	△100
非支配株主からの払込みによる収入	244	-
非支配株主への払戻による支出	△9	△8
リース債務の返済による支出	△87	△90
配当金の支払額	△249	△344
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△50	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,354	7,825
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	27
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,351	△865
現金及び現金同等物の期首残高	4,947	6,095
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△0	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,298	5,230

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引)

当社は、取締役及び監査役(社外取締役及び社外監査役を除く)に対する業績連動型株式報酬制度「役員株式給付信託(BBT)」及び一定の要件を満たした従業員に当社株式を給付するインセンティブプラン「従業員株式給付信託(J-ESOP)」を導入しております(以下、合わせて「本信託」という。)

本信託が所有する当社株式は、四半期連結貸借対照表の純資産の部において自己株式として表示しており、当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度末において303百万円、1,024,200株、当第2四半期連結会計期間末において300百万円、1,016,300株であります。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	リース・ 割賦	ファイナ ンス	不動産	フィー ビジネス	環境 ソリュー ション	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	9,407	846	6,257	237	575	17,324	16	17,340	—	17,340
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	9,407	846	6,257	237	575	17,324	16	17,340	—	17,340
セグメント利益又は 損失(△)	783	510	1,144	103	121	2,662	△6	2,656	△246	2,409

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物品販売等を含んでおります。

2. セグメント利益調整額△246百万円は、全社費用であり報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

2 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	リース・ 割賦	ファイナ ンス	不動産	フィー ビジネス	環境 ソリュー ション	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	9,760	907	4,841	247	594	16,352	16	16,368	—	16,368
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	9,760	907	4,841	247	594	16,352	16	16,368	—	16,368
セグメント利益又は 損失(△)	841	568	1,337	125	125	2,998	△9	2,988	△327	2,661

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物品販売等を含んでおります。

2. セグメント利益調整額△327百万円は、全社費用であり報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 補足情報

営業資産残高(連結)

セグメントの名称		前連結会計年度末 (2023年3月31日)		当第2四半期 連結会計期間末 (2023年9月30日)	
		期末残高 (百万円)	構成比 (%)	期末残高 (百万円)	構成比 (%)
リース・割賦	ファイナンス・リース	55,327	33.9	57,304	33.4
	オペレーティング・リース	5,506	3.4	5,392	3.1
	リース計	60,834	37.3	62,697	36.5
	割賦販売	22,773	13.9	24,596	14.3
	リース・割賦計	83,607	51.2	87,293	50.8
ファイナンス		32,900	20.2	36,859	21.5
不動産	オペレーティング・リース	25,806	15.8	27,003	15.7
	その他	16,562	10.1	15,850	9.2
	不動産計	42,369	25.9	42,854	24.9
環境ソリューション		4,378	2.7	4,839	2.8
合計		163,256	100.0	171,845	100.0